

水戸ヤクルト販売株式会社 健康経営宣言

会社としての健康施策

- 知識の向上**
 - 健康に関する教育研修
 - 健康情報の提供
 - e-ラーニングによる学習
- 健康増進**
 - 運動の推奨
 - 禁煙対策
 - 女性の健康支援
- 生活習慣病予防策**
 - 定期健康診断
 - ヤクルト総合健診
 - 人間ドック(勤続表彰)
- 重症化予防**
 - 特定保健指導
 - 再検査受診勧奨
 - 専門医の紹介
- 労務環境の整備**
 - 長時間労働の抑制
 - DX推進による時短
 - 休暇取得促進
- メンタルヘルス**
 - ストレスチェック
 - 高ストレス者介入
 - 若年層の面談
- その他**
 - 感染症予防
 - 社内対話の継続実施
 - 女性活躍推進
 - ハラスメント対策実施

従事者の意識変革

- 健康への理解度の向上**
 - 従事者の健康意識向上
 - セミナーの実施
 - 健康経営推進担当の育成
 - 女性特有の病気に対する研修
- 健診結果の改善**
 - 睡眠の質の改善
 - 運動意識の向上
 - BMIの正常化
 - 喫煙率の低下
- 早期発見早期治療**
 - 再検査受診率の向上
 - 健保組合との連携
 - 地域医療機関との連携
- 働き方改革**
 - 時短意識の向上
 - 休暇制度の充実
 - 定時退勤の推進
 - 高齢者への業務分担
- その他**
 - ヤクルトレディへの健診実施
 - 健保組合との連携
 - 地域医療機関との連携
 - 社内連携の活発化
 - 投資の機会提供

健康に関する目標指標

- 身体健康**
 - 有所見率の低下
 - 健診結果のデータ分析
 - 主観的健康観
- 心の健康**
 - 仕事の満足度の向上
 - 高ストレス者の減少
 - 社内対話・業務連携強化
 - ワークエンゲイジメントの向上
- 労務環境の改善**
 - 有給休暇取得率の向上
 - 残業時間数の減少
 - 感染症予防対策
- 地域の健康**
 - 県内の市町村別健康指標
 - 県が推進する食育への協力
 - ピンクリボン運動
 - 地域健康イベントへの協力

健康経営での課題

- 従事者の「身体」と「心」が健康に保たれ、働きがいのある会社を目指します**
 - 従事者の働きがい向上
 - 社内コミュニケーション向上
 - ワークライフバランス
- 地域のお客さまに対する健康情報の提供と共有**
 - ヤクルト製品のお届け
 - 健康意識の啓蒙活動
 - 取引先への健康情報提供

健康で美しく。
免疫ライフ
創造パートナー

水戸ヤクルト
販売株式会社

- 企業価値**
 - 水戸ヤクルトブランドの向上により地域に必要とされる企業
- 社会的価値**
 - お客さまに寄り添い続け、「健康寿命日本一」の地域社会づくりに貢献

水戸ヤクルト販売株式会社 健康経営の戦略

1 健康経営で解決したい経営上の課題

- 1、従業員のパフォーマンス向上
- 2、安定的な人財の確保
- 3、企業のブランド力アップ

2 健康経営の実施により期待する効果

- 1、従事者の心身の健康を確保し、労働生産性の低下や事故の発生、休職や退職などを未然に防ぐ。
- 2、安定的な人財の確保により、常に変化に対応できる組織づくりができる。
- 3、企業のブランド力を高めることで、地域のお客さまや取引先に信頼される。

3 健康経営全体の具体的な数値目標

- 1、定期健康診断での有所見者率50%未満にする。さらに従事者の高ストレス者率を5%未満にし、体調不良やメンタル不調による休職者を出さない組織とする。
- 2、特に20歳代社員の入社5年後の定着率80%以上を目指します。
- 3、企業全体の売上伸長率（前年比）を毎年100%以上を目指します。

4 健康経営全体の具体的な数値目標の設定に至った背景・根拠

当社は、「地域のお客様の健康をお守りする」をミッションに掲げ事業を推進していますがその達成には、従事者が心身ともに健やかに生き生きとした生活を送ることが必須です。しかし健康診断の結果は決して良い状況とは言えません。

参考：2021年度有所見者率58%（全国平均55.0%）、2022年度有所見者率53.3%

また、新規採用が難しいなかで、現在在籍する従業員に健康で長く働いてもらうために、健康状態の把握と改善に向けた取り組みが必要となるため。

5 健康課題の改善の具体的な数値目標

喫煙率の低下に向けて

本人や周囲の受動喫煙による健康障害リスク低減に向け、各取り組みを実施しております。

- ・「禁煙研修動画」（弊社オリジナル）を制作し配信
- ・会社敷地内全面禁煙を実施済み
- ・毎年5月には「世界禁煙デー」のポスター掲出
- ・ヤクルト健康保険組合の指導により、「スマホを使った卒煙プログラム」「禁煙マラソン」など

の社内告知を実施

項目		2017年度	2018年度	2019年度	2020年度	2021年度	2022年度	2023年度
喫煙者合計	(人)	35	36	38	37	35	37	35
	(%)	26.7%	26.1%	25.2%	23.9%	24.0%	24.3%	21.7%
男性喫煙者	(人)	11	13	12	10	11	10	9
	(%)	35.5%	36.7%	40.0%	33.3%	39.3%	37.0%	30.0%
女性喫煙者	(人)	24	23	26	27	24	27	26
	(%)	23.9%	24.1%	21.5%	21.6%	20.0%	21.6%	19.8%

※2022年度、2023年度は目標

6 健康経営の取組による効果

現在当社においては男女とも年代が上がるにつれて有所見率が増加する傾向が見られます。男女とも血中脂質、血圧に有所見率が高い。メタボリックシンドローム該当者は例年同じくらいの人数で推移しているが、特に男性のBMI値、腹囲の平均値が正常値を上回っている。

最新の問診ではコロナウイルスによる行動制限の影響が続き、運動不足率が高いまま推移している。

次年度は保健指導の人数が増加する可能性があります。

喫煙率についても先に提示した通り、ほぼ横ばいである。健康障害への影響が大きいため、新たな

施策を講じる必要があります。

従事者の健康状態により業務のパフォーマンスに影響を及ぼすため、先ず身体的な健康管理を行うことと、さらにメンタルヘルスについてもストレスチェックや定期的なアンケートなどにより、従事者の心的な状態を把握することで生産性の向上効果が期待できます。

従事者自身も健康経営による心身の健康管理により、ワークライフバランスを実現できることに加え、より長くキャリアを積むことができます。

元来ヤクルト事業は健康産業であるため、さらに健康経営に取り組むことでより一層のブランド力アップにつながり、お客さまや取引先からの評価も得られます。

これらのことから、健康経営に取り組むことで従事者の心身の健康を保つことにより、より一層の生産性の向上効果が期待できます。

